

小中連携だより No. 13

小中連携推進会

(文責：広田中学校 副校長 山口伸一郎)

平成29年11月9日

小中一貫型教育の実践について、報告会を行いました。



10月30日(月)の19:00から、広田中学校体育館において、「広田小学校・広田中学校 小中一貫型教育の実践についての報告会」を行いました。当日は、お忙しい時間帯にも関わらず、保護者・地域の皆様、佐世保市教育委員会、両校の教職員等、およそ70名の出席をいただきました。

広田小学校・中学校における小中一貫型教育がスタートして、半年が経過しました。中学校副校長から、4月からの実践及びこれまでの成果と反省等についてプレゼンテーションを使って説明があり、その後質疑・応答のなかで参加者のご意見を伺いました。

スタートした当初は、6年生・中学生ともに戸惑いもあったようですが、毎日顔を合わせていっしょに生活するなかで、徐々に雰囲気や生活リズムにも慣れて、スムーズな学校生活を送ることができるようになりました。

また、互いにもっと関わりたいという気持ちを抱きながら学校生活を送るなかで、集会活動や様々な行事をとおして徐々に小中の関わりが増えていきました。そして、9月の体育大会や先日の文化発表会では、計画の段階から小学生をどのように関わらせていくかを小中教職員でしっかりと協議し、中学生が6年生をサポートしながら大きな成功を収めることができました。



＜文化発表会における6年生の合唱・合奏＞

しい思い出をつくろう」という思いやりの気持ちが育っています。

全てが初めての試みであり、試行錯誤しながらの実践ではありますが、時間を追うごとに着実に成果が見えてきていると確信しています。しかしながら、「小学校における縦割り交流活動の方法」や「教職員間の連絡体制の整備」等の課題も見えてきていますので、今後も更なる充実が図られるよう進めていきたいと思ひます。今後も引き続き、保護者及び地域の皆様のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

大きな行事とともに関わり、成功させていくなかで、6年生には中学生への憧れが芽生え、「来年は自分たちが6年生を引っ張る」という気持ちが生まれています。また、中学生には、「6年生といっしょにすばら

「部活動体験活動」をスタートしました。

小中一貫型教育の特色ある取組の一つとして予定していました、中学校の「部活動体験活動」を、10月からスタートしました。この活動は、それぞれの部活動において活動の様子を見学したり、活動内容を体験したりすることで、4月からの中学校生活のスムーズなスタートにつなげることをめざして実施するものです。

方法としては、1回55分間、毎月2回を基本として、6年生に毎回希望調査を行い、希望する部活動の見学や体験を行ってもらおうというものです。10月上旬に部活動見学を計画し、1回目を10月24日（火）、2回目を11月7日（火）に実施しました。どちらも、およそ70名の6年生児童が参加し、自分の興味のある部活動の見学・体験を行いました。



＜部活動体験（バスケットボール男女）＞



＜部活動体験（バレーボール男子）＞

顧問の先生や先輩からの指導を熱心に聞き入る6年生の瞳は、キラキラと輝いていて、「早く部活動に参加したい」、「中学生になったら部活動をがんばるぞ！！」という大きな意気込みを感じました。中学生も、後輩への優しさと自分の部活動を少しでもアピールしようと一生懸命でした。

今後も予定通り実施していきますので、6年生には多くの部活動を体験してもらい、中学校生活のスムーズなスタートにつなげる活動にしてほしいと願っています。

ご意見やご質問、ご感想等は、下欄にご記入のうえ、お子様を通じて小学校、中学校へご提出願えれば幸いです。尚、記入欄が足りない場合は、別の用紙や連絡帳に記入されて提出していただいてもかまいません。

--